

## 若手グローバル研究リーダー育成プログラム

(実施期間：平成 20～24 年度)

実施機関：静岡大学（代表者：伊東 幸宏）

### 課題の概要

テニュアトラック制度を中心とする人材システム改革特区を創造科学技術大学院・電子工学研究所に設け、自立的研究環境を整備し、高い見地からの指導・支援の下、研究能力の向上と同時に、リーダーシップ、マネージメント能力、教育能力等の涵養を図る。評価基準を満たせば全員テニュア取得可能となるよう十分な数のポストを全学的に用意する。国際公募を含め採用審査等は、学外の国際的な専門家を入れ、透明性、公平・公正性の高い人事制度を整備・確立する。3年目の中間評価結果を踏まえ、制度・運用面の改善を図った上で4年目以降、学長裁量ポスト等を活用して自主的取組を開始し、将来的に、本制度を全学に拡大する。テニュア取得後も、研究教育能力の継続的な向上のため、サバティカル制度を導入する。

#### (1) 総合評価（所期の計画と同等の取組が行われている）

本プログラムが求めている国際公募の仕組みを踏襲し、テニュアトラック教員の育成や自主的取組を進めるなど計画も順調・着実に進展し、テニュアトラック教員の中間評価結果に基づいてテニュア採用する措置を定める等所期の計画と同等の取組が行われている。機関の目指すテニュア像は明確に示されているが、今後は、そのテニュア像を実現するための具体的な育成システムの構築を期待する。また、「若手研究者が一定期間自立的に研究に集中できる独立した人材システム改革特区」を設けて行うテニュアトラック制の機関全体への展開及びテニュアトラック教員の自立性を担保するメンター制のあり方等、人材養成システム改革に係る計画とそのプロセスを更に明確にすることを期待する。

<総合評価：A>

#### (2) 個別評価

##### ①国際公募・選考・業績評価

テニュアトラック教員の公募・採用に際して、国際公募が適切に実施されており、外部委員が半数を占める委員会において透明で公正な選考・審査を行い、適切な段階的選考・採用プロセスが構築されていると評価できる。10名中2名が外国籍研究者であり、また、直前に自機関に所属していた者の採用比率が低く、自主的取組での採用を平成23年度から計画していることも評価できる。今後は、女性研究者の応募者数の増加と採用に向けて具体的な検討と取組を期待する。

##### ②人材養成システム改革（上記①以外の制度設計に基づく実施内容・実績）

GRL (Global Research Leader) セミナーを通じテニュアトラック教員間での融合・自主活動を可能とする取組は、リーダーシップやマネージメント力の育成に有効であり評価できる。今後は、定められたテニュア像を満たすためのより具体的な施策の立案と実施を期待する。さらに、科学者倫理教育の内容の具体化と実行及び女性研究者の採用を促進するために機関全体を対象としたライフイベントに対する措置や既に実施している女性研究者支援策を機関内外に積極的に広報・周知することも期待する。

### ③人材養成システム改革（上記①以外の制度設計に対するマネジメント）

テニユアトラック教員の年度毎の業績評価を着実に実施し、テニユア審査基準を明示している点は評価できる。テニユアトラック教員1名に充てるメンター教員は全て1名であることから、テニユアトラック教員の自立性確保について検証し、必要に応じ適切な措置を講ずることを期待する。また、ポストドクターを学術研究員として採用する場合は、任期終了後の処遇も視野に入れたキャリアアップの在り方を検討・実施することを期待する。

### ④実施期間終了までの進め方

機関全体を対象としたテニユアトラック制に関する規程を定めるなど人材養成システム改革が着実に進んでおり、また、テニユアトラック教員育成のための国際シンポジウムを開催したこと、テニユア審査において基準を満たしたテニユアトラック教員全員をテニユア教員として採用できるよう、十分なテニユアポストが用意している点は評価できる。2つのキャンパス間の交流も進んでおり、今後も継続・強化することを期待する。

### ⑤実施期間終了以降の継続性・発展性

実施期間終了後も自主経費を充てて毎年2～3名（年平均2名）のテニユアトラック教員を採用する予定であり、テニユアトラック制を基にした人材養成システム改革の機関への定着を目指す計画となっている。また、実施期間終了後の運営経費が縮減されることを想定した対応を具体的に検討しており継続性への努力は評価できるが、人材養成システム改革に係る計画とそのプロセスについて更に明確にすることを期待する。

## （3）評価結果

総合評価	国際公募・ 選考・ 業績評価	人材養成 システム改革 （制度設計に 基づく実施内 容・実績）	人材養成 システム改革 （制度設計に 対するマネジ メント）	実施期間終了 までの進め方	実施期間終了 以降の継続 性・発展性
A	a	a	a	a	a